

ブリーダー  
いち推し!

# 直売所で 売上アップをねらうなら この品種

## キャベツ

タキイ研究農場  
とまる ゆうき  
戸丸 祐貴

新鮮、おいしい、珍しい。  
三つのキーワードで選抜

キャベツは冬の寒さから身を守るために、葉に糖分を蓄えます。その結果として、冬に収穫するキャベツは甘くなります。「彩音」は冬どりの寒玉系キャベツの中でも特に甘みがあり、食味にすぐれる品種です。寒玉系キャベツは一般的に加熱調理に向くとされますが、この品種はサラダなどの生食でも食味のよさを感じることができます。ジューシーな食感と口の中にあふれる甘みが、消費者の心をくすぐるでしょう。栽培面では耐寒性・低温結球性が強く、玉肥大にすぐれるほか、裂球も遅いため、安心して栽培することも魅力です。



→  
収穫期幅が広い冬どり種「彩音」。低温期は甘みが強く食味にすぐれます。

→  
縮みのきれいなサボイ種「サボイエースSP」。直売所でも目を引くこと請け合い。煮込み料理に最適です。



サボイキャベツは、フランスやイタリアではメジャーなキャベツの種類の一つで、葉がちりめん状に縮れている特徴があります。外観が普通のキャベツと異なるため、食べ方さえアピールすれば目を引くことでしょう。煮込み料理に向くのでポトフやロールキャベツなどにと、おいしく召し上がれます。「サボイエースSP」は、玉は縮みのきれいな濃緑の甲高扁円球でよくしまり、内部は鮮やかな鮮黄色で見た目にもみずみずしく、秀品率の高い品種です。ただし、サボイキャベツは過湿条件を苦手とするため、排水性の悪い圃場では高畝にし、また元肥タイプの酸素供給剤である「オキソパワー5」を使用することで上手に栽培できます。

## ハクサイ

タキイ長野研究農場  
こんどう ひでお  
近藤 英郎

みずみずしさとおいしさで、  
2品種おすすめ

「シアーレお黄にいり」は、根こぶ病に強いミニハクサイ品種です。密植栽培すると大玉ハクサイの1/4の球重600~700gで収穫できます。1回分の料理にちょうどよい大きさで、冷蔵庫の野菜室にぴったりと収まり、使い勝手抜群です。歯切れがよくほんのり甘みがあるので、サラダや中華料理の炒め物や鍋物に最適です。

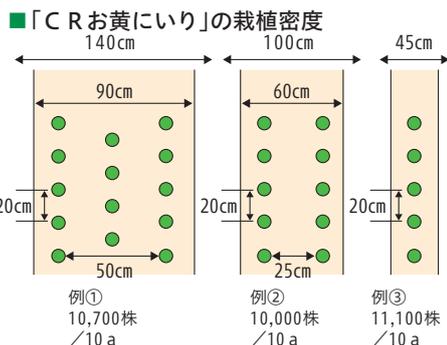
600~700gの玉を収穫するためには、条間・株間ともに20~25cmを標準とします。



←↑  
結球内部が鮮やかな「オレンジキン」、料理にも映える。販促にはタキイのPOPをご活用ください。



「オレンジキン」は球内色が鮮やかなオレンジ色で、食感がパリッと歯切れよく甘くておいしい品種です。栄養価の面では、通常のハクサイに含まれるβ-カロテンに加え、トマトに含まれる抗酸化成分の一種であるシスリコピンも含んでいます。見た目のきれいさと味・栄養面と多方面からアピールできる品種です。



↑「CRお黄にいり」

## ホウレンソウ

タキイ長沼研究農場  
かんだ たくや  
神田 拓也

### 栽培しやすい! おいしい! 病気に強い! タキイのホウレンソウ2品種

「福兵衛」は生育が旺盛で土質を選ばないため栽培しやすく、ボリューム満点で収益アップに最適な新定番品種です。また、秋～春まで通してタネまきが可能なため、時期に応じて品種を切り替える必要がありません。葉は濃緑で光沢があるため見ばえよく、葉肉が厚くえぐみも少ないため、食味にすぐれています。ホウレンソウの重大病害であるべと病にも強く、安心して栽培できるでしょう。



← 生育旺盛な秋・春どりの早生種「福兵衛」。播種期幅が広く冬どり栽培も可能な品種です。

→ 葉の切れ込みが深い剣葉種「冬ごのみ」。そのおいしさは寒じめ栽培でさらに増します。



← 2～3週間、低温にさらす寒じめ栽培。甘みがぐっと増したホウレンソウは格別です。

「冬ごのみ」は「おいしさ」とことん追求して育成した品種です。甘みが強く、ホウレンソウ特有のえぐみが極めて少ないことがおいしさの理由です。特に寒さにさらして栽培した食味は格別です。葉形は昔ながらの切れ込みが深く入るタイプで、直売所でも「おいしいホウレンソウ」として差別化ができます。

この品種のおすすめの栽培方法は寒じめ栽培です。一般地の場合10月中旬にタネをまき、状況に応じて被覆資材で生育を進めながら年内までに20cm程度の草丈を確保します。その後12月～2月にかけて、被覆資材を撤去、ハウスではサイドを開放することで寒さにさらし、甘みがグッと増したホウレンソウをお楽しみください。

## レタス

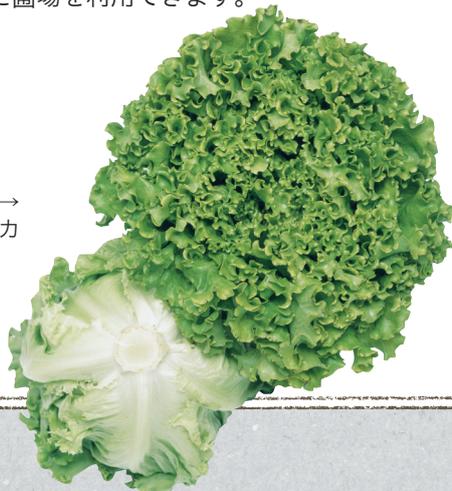
タキイ熊本研究農場  
きたむら なおと  
喜多村 直人

### 見た目と食感で 2品種おすすめ

多くの野菜が出荷される中で、見た目や食感で差別化を図ることができる非結球レタスで売り上げアップをねらってみてはいかがでしょうか。

「マザーグリーン」は玉レタスに近いパリッとした食感の淡緑色リーフレタスです。葉枚数が多く肉厚で外側と内側の葉のサイズがよくそろうため、幅広い料理に使いやすいのも特長です。株張りは通常のリーフレタスよりもコンパクトなため慣行の1～2割株間を狭くすることが可能で、作りやすく効率的に圃場を利用できます。

→ パリッとした食感が魅力の「マザーグリーン」。



Phyto Rich  
ファイトリッチ®

← アントシアニン豊富な「ワインドレス」。

「ワインドレス」はレタスでは唯一の「ファイトリッチ」シリーズ品種で、アントシアニンの含有量が豊富なニュータイプのレッドリーフです。色鮮やかなワインレッドの発色は緑主体の野菜売り場でひと際目を引くでしょう。ほろ苦い大人の味わいと、かための葉質が特長でサラダのアクセントとしてぴったりです。チップバーンの発生は少ない品種ですが、トウ立ちは比較的に早いため、適温期から低温期の栽培を基本とします。日当たりのよい場所に株間30cm程度で栽培を行うと色鮮やかに発色します。

## ダイコン

タキイ茨城研究農場

おかもと ゆう  
岡本 祐

### 赤いミニ、赤い丸、色と形で目を引きましょう!

「**紅三太**」は晩抽性があり、秋冬どり～春・初夏どりまで長期出荷可能な赤ダイコンです。短形品種で耕土が浅い場所でも形状がまとまりやすいため、初心者でも作りやすい品種です。秋の適期栽培では45日程度で収穫でき、葉がコンパクトで密植栽培も可能です。外見は紅色の俵形で、表皮がやわらかく肉質はシャキシャキした食感で、皮ごと輪切りにしての食べ方をおすすめします。

「**ニューコメット**」は、これまでの「コメット」よりもさらに作りやすく、そろいがよいF1種の二十日ダイコンです。



↑ミニ赤ダイコン「紅三太」。



↑赤丸二十日ダイコン「ニューコメット」。

生育が早く肥大性にすぐれ、二十日ダイコンで問題となる裂根の発生が少ない品種です。また、葉がコンパクトで高温期でも葉がまのびしにくいいため、年間を通じて根と葉のバランスがよいものが収穫できます。周年栽培可能ですが、厳寒期や高温期は資材を活用し品質の維持に努めましょう。根部は美しい球形で光沢のある赤色をしており、純白でみずみずしい肉質はサラダや酢漬に最適です。

## タマネギ

タキイ研究農場

さかもと かずき  
坂本 和貴

### GW前収穫の早生種、長期貯蔵&機能性成分で注目の2品種

「**スパート**」は早出し用としておすすめしたい品種です。4月中下旬から収穫でき、甲高でそろいのよい大玉に仕上がります。また、玉のしまりもよいため、収穫や集荷時の傷みが少なく、安心して作業できます。

茎葉の耐寒性が高く生育旺盛で抽苔の発生も少なく、中間地から暖地まで栽培しやすい品種です。

「**ケルたま**」は貯蔵中の萌芽や尻部の動きが遅く、3月までの長期貯蔵が可能です。玉のしまりがよく、皮は密着性にすぐれており、濃赤褐色で美しく仕上がります。また、機能性成分ケルセチンを秋まき従来品種に比べて約1.5倍

多く含んでいます。ケルセチンはポリフェノールの一種で、抗酸化作用などの効果があることが報告されています。

中生種と同様の9月中下旬に播種し、11月中下旬までには定植(中間地標準)、スムーズな活着を図ります。

収穫時期は晩生の6月中旬ごろとなりますので、梅雨の晴れ間をねらって収穫し、圃場でしっかり乾燥させることが長期貯蔵させるためのポイントです。



←早生種「スパート」。



→長期貯蔵が可能な「ケルたま」。

## ニンジン

タキイ茨城研究農場

つつい だい  
筒井 大地

### 機能性成分、食味のよさ。

#### 「ファイトリッチ」シリーズを2品種

「**京くれない**」はリコピンとカロテンの成分をバランスよく併せもつ赤色ニンジンです。リコピンは抗酸化力が強く、紫外線によって生じる活性酸素を除去し、肌にメラニンが蓄積するのを抑える効果があると期待されています。リコピンやカロテンはともに脂溶性成分で、油と調理することでより吸収されやすくなるため、炒め物や煮物にも最適です。「京くれない」なら加熱後も赤色が際立ち、普段とは違った彩りの料理が楽しめます。

「**オレンジ**」はフランス語で「オレンジ」を意味するように、とても鮮やかな濃いオレンジ色で、こちらもカロテンを従来品種より1.5倍多く含んだ品種です。外皮から芯ま

で均一なオレンジ色なのでどの部位を使ってもサラダを鮮やかに彩ります。完熟するとニンジン臭が少なくなり、寒さにあたることで色と甘みが増し、おいしくなります。

両品種とも生育期間を長め(120日以上)にとり、生育後半まで葉を健全に保つことが良品生産のコツです。肥効が長く続くように肥培管理に努め、台風前後のタイミングでは葉傷み防除の薬剤散布も行いましょう。



↑根色鮮やかな赤色ニンジン「京くれない」。



→冬どり五寸ニンジン「オレンジ」。